

広島大学第37回東京イブニングセミナー

■日時: 2011年7月1日(金) 18:30 ~ 21:00 (受付 18:00~)

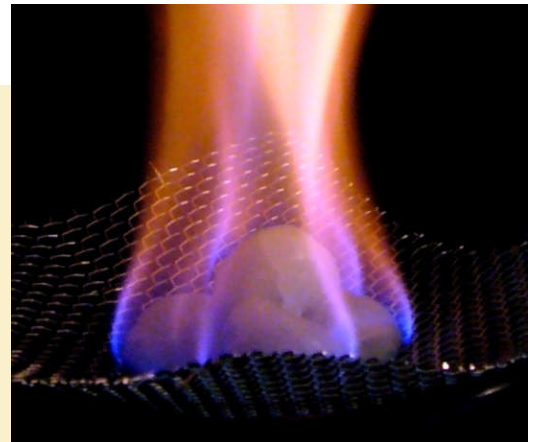
■場所: 東京都港区芝浦3-3-6 キャンパス・イノベーションセンター(下図参照:JR田町駅 芝浦口 徒歩1分)

■費用: 講演会・無料、交流会・2,000円(当日支払い)

■主催: 広島大学(社会連携推進機構)

■講演プログラム

1. 18:30~18:35 講師紹介 1階国際会議室
大前 和也 (東京オフィス 所長)
2. 18:35 ~18:45 NGHジャパン(株) の紹介
高沖 達也【NGHジャパン(株)代表取締役社長】
3. 18:45~19:45 講演・質疑応答



NGH(天然ガスハイドレート)による天然ガスの輸送

--「燃える氷」天然ガスハイドレートの不思議--

高沖 達也【NGHジャパン(株)代表取締役社長】

<概要> 21世紀はガスの時代と言われます。

エネルギーに世界の関心が集まる中、発熱量が大きく、CO2の排出量が少ない、天然ガスに注目が集まっています。天然ガスは、1940年代に液化技術が開発されて以来、一貫して右肩上がり需要が伸びています。21世紀に入っても、その傾向に変わりはなく、それどころか、原子力の先行き不透明感もあり、需要は急増しています。

天然ガスをハイドレート化したものが「天然ガスハイドレート」です。自然界にも多く存在し、日本近海にも多量に埋蔵していることが分っています。自然界にある天然ガスハイドレートは、その成分から「メタンハイドレート」と呼ばれ、将来の有望なガス資源として期待されています。

天然ガスハイドレートは、天然ガスと水から、人工的に製造することも出来ます。この人工的に製造した天然ガスハイドレートのことを、資源のメタンハイドレートと区別して、「NGH(Natural Gas Hydrate)」と呼んでいます。人工「NGH」は多くの興味ある工業的特長を有するため、様々な分野への応用が考えられています。

その中でも、最も注目されているのが、「NGH」を利用した天然ガスの輸送です。「NGH」による天然ガスの輸送は、液化して輸送するLNGに比べ、簡便、安全な方法のため、これまで放置され、世界に数多くある、中小ガス田の開発をうながし、世界のガスマーケットを一新させる技術と期待されています。

今回は、資源のメタンハイドレートの紹介をすると共に、日本発の新技术として期待される「NGHの天然ガス輸送」の開発の現状を報告いたします。

4. 19:50 ~ 21:00 交流会 5階リエゾンコーナー508

■お申込み方法: 添付の「参加申込書」に所定の事項を記入頂き、FAXあるいはE-mailにて下記までお申込み下さい。(定員 100名)

申込み・問合せ先

広島大学東京オフィス
東京都港区芝浦3-3-6
キャンパス・イノベーションセンター409号室

電話: 03-5440-9065

FAX: 03-5440-9117

E-mail: liaison-office@office.hiroshima-u.ac.jp

